

■ 第 1 回 東北地方太平洋沖地震緊急災害対策本部会議

(平成 23 年 3 月 11 日 15:37～15:56) 官邸地下 官邸危機管理センターに於いて

終了後、閣僚の一人が「ここはカメラが入っていないから、カメラの前でもう一度、緊急災害対策本部会議を開いたほうがいい」と提案した。

その流れで、枝野幸男官房長官が「閣僚は全員、官邸 4 階の大会議場に集まって」と指示をした。

■ 第 2 回 緊急災害対策本部会議

(平成 23 年 3 月 11 日 16:00～16:22) 官邸 4 階 大会議場に於いて

会議は冒頭、官房長官の官邸危機管理センターでの発言と一字一句変わらない挨拶で（同じ原稿を読んで）始まっている。

総理の発言は、メモはあったが、多くの報道陣を意識して、メモを離れてアドリブで発言したので官邸危機管理センターでの発言とは若干違う。

その後、各大臣から発言が続いたが、これはメモを読むだけだから、第 1 回と全く同じ。

平成 23 年宮城県沖を震源とする地震緊急災害対策本部



平成 23 年 3 月 11 日、菅総理は総理大臣官邸で、緊急災害対策本部を開催しました。

本日の会合は、平成 23 年東北地方太平洋沖地震に関して地方自治体と緊密に連携し、被災者の救護・救助をはじめとする災害応急活動に総力をあげて取り組むとともに、国民生活及び経済活動が早期に回復するよう全力を尽くすために設置しました。

菅総理は冒頭の発言で、「三陸沖で大きな地震が発生をいたしました。国民の皆さんには、ぜひ落ち着いて行動をとるようお願いいたします。特に海岸近くにおられる方は津波に警戒をされて高台の方に避難されるよう、ぜひ行動をとってください。

また、こういう時こそ助け合いの精神を発揮して被害が最小限に食い止められるよう一人ひとりの皆さんがそうした気持ちで行動されるようお願いを申し上げます。」と述べました。